



外に内に染む

伊庭靖子

2022

7.7^{Thu} > 9.5^{Mon}

11:00 - 18:00

Closed: Tuesday - Wednesday

Admission free

休館日: 火・水曜日 / 入場無料

※開館時間は千總本店の営業時間に準じます。

千總ギャラリー [ギャラリー2]

CHISO GALLERY gallery2



Untitled 2021-16 41×31.8cm Oil painting

伊庭靖子

- 1967年 京都市生まれ
- 1990年 嵯峨美術短期大学版画科専攻科修了
- 1999年 フランス・モンブランカンにて滞在制作
(タイムラー・クライスラーグループ「ガスコニュー・ジャパニーズ・アート・スカラシップ〜アーティスト・イン・レジデンス・プログラム」)
- 2001-02年 アメリカ・ニューヨークにて滞在制作
(文化庁芸術家在外研修員)
- 2003年 第21回京都文化芸術賞 奨励賞 受賞
- 2010年 第20回タカシマヤ美術賞 受賞
- 2011年 平成23年度滋賀県文化奨励賞 受賞
- 2019年 第29回秀明文化賞 受賞
- 2022年 第40回京都市文化賞功労賞 受賞
- 2022年 第35回京都美術文化賞 受賞

現在 京都を拠点に活動

往来の愉悅

この春、千總が現代アートのために新しくギャラリーを開設した。夏には3年ぶりに祇園祭で華やぐこの界隈で、展示のテーマは「内と外」。そのテーマに相応しいアーティストを推薦して欲しいと請われて、即座に浮かんだのが伊庭靖子である。

伊庭はクッションや陶器などごく身近に存在する「もの」に肉迫し、その一部をクローズアップしてキャンバスに写し取る。質感、色、光の反射など、一見すると写真とみまごうような精密さだが、対象物を本物そっくり画布の上に再現して見せる、いわゆるスーパーリアリズムとは一線を画している。伊庭は対象物のリアルな再現を目指しているのではなく、それがなんであれ、そのものが持つ本質に迫り、キャンバスの上での再生を図っているのだ。

3年ほど前までは、伊庭の目は室内にあるものを中心に追いかけていた。彼女にとって見る者にとっても居心地のよい場所を、タブローを通して存分に提供してくれていた。それがコロナ禍を境に、まなざしがむしろ外へ向き始めたという。日常的に出かけることがままならなくなってしまったからこそ、「内から外へ」と画家の気持ちに向かったのは、あるいは必然だったのかもしれない。

伊庭が画布に写した屋外の風景は、画題になるような特別な風景ではない。それでも、誰もがどこかで見たことのある不思議な懐かしさと、色濃い緑の匂い、木々の間を吹き渡る風の感触、梢がざわめく音まで聞こえてくるかのようだ。一方で、屋内へ目を転じると、ふと手を伸ばしたくなるような質感を持ったオブジェがひっそりと息を潜めている。

伊庭が創り上げた世界、そこにはいかなる人影も見えないが、ただひとりだけ、タブローと私たちの間に佇んでいるのが、画家その人なのである。

私たちは画家の目でこの景色を見、風を感じ、光を表面に溜めた滑らかなオブジェを愛でて、内と外を同時に体験する。伊庭の絵画世界にしばし遊び、やがて現実に戻ってくる。その束の間の往来の愉しさを、伊庭靖子はいつも私たちに教えてくれるのだ。

原田マハ (作家)

1962年東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史料科卒業。伊藤忠商事株式会社、森ビル森美術館設立準備室、ニューヨーク近代美術館勤務を経て、2005年『カフーを待ちわびて』で第1回日本ラブストーリー大賞を受賞し作家デビュー。12年『楽園のキャンバス』で第25回山本周五郎賞、17年『リーチ先生』で第36回新田次郎文学賞を受賞。

千總本店 2F 千總ギャラリー CHISO GALLERY

文化の発信地である京都で460余年続いてきた千總。工芸とアート、伝統と創造、過去・現在・未来などが交差するこの場で、新たな美との出会いをご提供します。

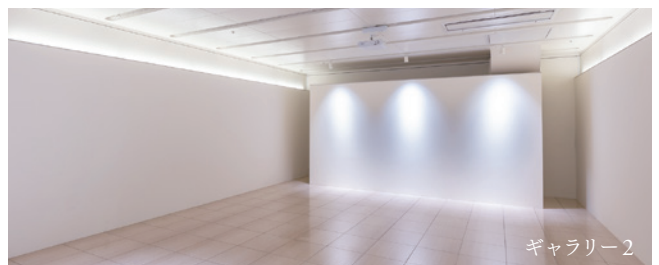
ギャラリー2 本展会場

ブランドと感性や理念が共鳴する現代の作家の作品を、千總のキュレーションによって展示します。美を未来に向けて生み出すことなど、ブランドの創造性を伝えます。

ギャラリー1

小袖、屏風などの所蔵品を展覧会のテーマごとにご覧いただけます。

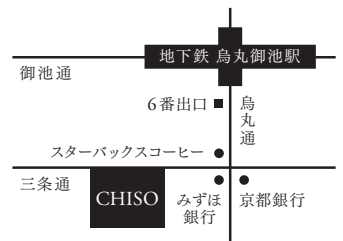
千總ギャラリーの最新情報は右記のQRコードより
千總公式サイトにてご覧ください



ギャラリー2

京都市営地下鉄「烏丸御池」駅
6番出口より徒歩約3分
阪急電鉄「烏丸」駅 22番出口より
徒歩7分

● 車椅子でご来館の方へ
エレベーターのご案内が可能です。
ご利用の方は、店内係員までお申し
付けくださいませ。



TEL 075-253-1555 FAX 075-253-1700
604-8166 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町80
80 Mikura-cho Sanjo Karasuma Nishiiru Nakagyo-ku Kyoto-shi 604-8166, Japan